

# 『共育』クローバープラン

個性化・多様化・情報化等時代は大きく変わってきています。その中で、人間関係の希薄化等の課題も挙げられています。

このような時代にこそ、たとえば、「おはよう こんにちは」を言えるような教育における「不易」を、百年一日の如く営々と続けることが求められています。

そんな「不易」の実現のため、「本を読む 汗を流す あいさつ・声がけをする スイッチを切る」という4つの活動が、土に水がしみ込むように広がっていくことを願うものです。



長野県のすべての子どもと大人が共に学び共に育つことを願って、「『共育』クローバープラン」と名付けたこの活動が、学校でも家庭でも地域でも、日々の暮らしの中で地道に実践されることを提唱いたします。

## 「共育」クローバープラン

本を読む  汗を流す  あいさつ・声がけをする  スイッチを切る

### 〈 「共育」クローバープランの実践例 〉

#### (1) 本を読む

- 子どもと大人と一緒に読書をする。
- 子どもにたくさん読みきかせをする。
- 図書館を大いに利用する。
- 子どもの誕生日に本をプレゼントする。

#### (2) 汗を流す

- 公園等公共の場の掃除や美化活動を行う。
- 学校林・地域林や休耕田を整備し活用する。
- 会社や学校でノーカーデーを実施する。
- 子どもと大人と一緒に遊ぶ宿泊体験を行う。
- スポーツをする。

#### (3) あいさつ・声がけをする

- 学校で、街で、家庭で、自然に「おはよう」「こんにちは」のあいさつをする。
- 「大丈夫」「いいねえ」「やってみようか」との声をかける。
- お互いに「ありがとう」「ごめんね」を素直に言う。

#### (4) スイッチを切る

- テレビ・ゲーム機・携帯電話のスイッチを切って、家族や仲間と会話する。
- 冷暖房機のスイッチを切って自然を体感する。